

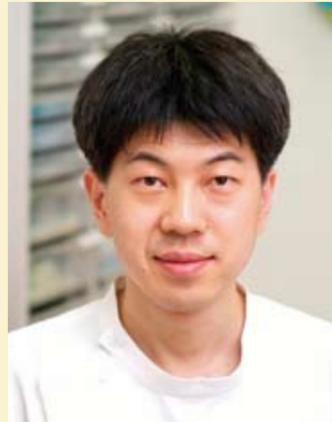
## 新任部長のご紹介



耳鼻咽喉科  
いしじま けん  
**石島 健**

専門/中耳手術  
卒業年次/平成2年  
資格/日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医、日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談認定医

耳鼻咽喉科疾患全般に対応いたしますので、より良い連携にご協力をお願いいたします。中耳手術を中心に聴力改善手術、鼻副鼻腔手術、口腔・咽頭手術、音声改善手術、頭部良性・悪性疾患に対する手術などを幅広く行っております。手術症例だけでなく重症の急性炎症性疾患や顔面神経麻痺、突発性難聴などの緊急性を要する疾患にも対応します。積極的に逆紹介率も上げていくつもりです。なにとぞよろしくお願いいたします。



小児科  
たにくち よしひろ  
**谷口 義弘**

専門/アレルギー、血液、免疫  
卒業年次/平成6年  
資格/日本小児科学会認定医、日本小児科学会専門医

これまでの木曜日に加え、今年度から月曜日も当院が小児救急当番病院を担当する事になりました。微力ながら地域医療に貢献していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

## 新任副部長のご紹介



外科  
よした まこと  
**吉田 誠**

卒業年次/平成6年  
資格/日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本乳癌学会認定医、検診マンモグラフィ読影医師、日本がん治療認定医機構がん治療認定医



眼科  
つじ たかひろ  
**辻 隆宏**

専門/眼科一般、白内障、黄斑変性症、小児眼科  
卒業年次/平成11年  
資格/日本眼科学会専門医、京都大学医学部博士、眼科PDT講習会受講修了認定医、エキシマレーザー屈折矯正手術講習会受講修了



腎臓・泌尿器科  
たかた まさゆき  
**高田 昌幸**

専門/泌尿器科領域の悪性腫瘍  
卒業年次/平成12年  
資格/日本泌尿器科学会指導医・専門医

## 管理栄養士による栄養指導のご案内 (※連携医の先生からのお申し込みによる「栄養指導」を行っています。地域医療連携課までお申し込みください。)

栄養指導の内容	予約可能な曜日と時間	栄養指導時間	患者様負担金
①糖尿病食 ②糖尿病性腎食 ③脂質異常食 ④腎臓病食 ⑤肝臓病食(脂肪肝、腎不全、肝硬変、肝不全) ⑥心臓食(狭心症、高血圧) ⑦胃潰瘍食 ⑧膵炎食 ⑨痛風食	毎週月曜日・火曜日・木曜日 13:00~14:00	1時間	1950円 (3割負担)

### 地域医療連携課

受付時間/平日 8:00~18:30  
土曜 8:30~12:30  
TEL 0776-36-4110(直通)  
FAX 0776-36-0240(専用)



<http://www.fukui-med.jrc.or.jp>  
e-mail renkei@fukui-med.jrc.or.jp

連携通信第35号発行  
平成22年8月  
福井赤十字病院



# Partner

Japanese Red Cross Fukui Hospital

福井赤十字病院連携通信

パートナー vol.035



東尋坊と雄島

## Topics トピックス

### 呼吸ケアサポートチームが発足しました。

当院では4月から呼吸ケアサポートチーム(Respiration Support Team:RST)を結成し活動を開始しました。

RSTでは、人工呼吸器を装着された患者様が早期に人工呼吸器から離脱できるように呼吸管理や安全管理、合併症の予防、呼吸筋のリハビリテーションなどを行っています。一般病棟で人工呼吸器(T-BirdVos2、VELA、NIP、オートセット)を装着している患者様の病棟回診、カンファレンスを行っています。医師、看護師、理学療法士および臨床工学技士らが中心となり、さらに歯科衛生士、管理栄養士、薬剤師および事務職員の計8職種によるメンバーがそれぞれの専門知識を活かし、患者様の早期回復に向けて日々頑張っています。

RSTは、患者様の治療や看護に有効なサポートができるよう活動内容の改善や拡充に努めていき、主治医や看護師らと共に患者様の治療や看護に携わっていきたくと考えています。

今後は連携医の先生方からの呼吸ケアのご相談などにも対応していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



### 福井赤十字病院

#### 理念

人道・博愛の精神のもとに、県民の求める優れた医療を提供します。

#### 基本方針

- 患者様の権利と意思を尊重し、相互理解に基づく医療を行います。
- 患者様に優しい医療を提供します。
- 医療の安全と質の向上に努めます。
- 地域の保健・福祉・医療機関と連携を進めます。
- 救急医療を充実させ、地域の急性期医療を担います。
- 災害時に積極的な医療救護や救援活動を行います。

# 当院眼科の 3つのトピックス

自分が当院に着任してからはや14年目になりました。これまで紹介していただいた先生方には大変感謝しております。これからは「micro&laser surgeryでより見えやすく」をスローガンにスタッフ一同増々頑張っていきます。最近の当眼科におけるいくつかのトピックがありますので、説明したいと思います。

## 《プレミアムIOL》

付加価値のついた眼内レンズ(IOL)を総じてプレミアムIOLと呼びます。プレミアムIOLには多焦点IOLとトーリックIOLがあります。通常のIOLは単焦点ですから、遠方もしくは近方のどちらかにしかピントは合いません。多焦点IOLは遠用IOLと近用IOLを一つに合わせたものになります。利点は遠近が眼鏡なしで見ることができます。しかし欠点がありまして、見え方が単焦点に比べると少し落ちます。ですから眼疾患が全くないことが条件になります。さらに、夜間は光の散乱が生じやすくなりますので夜間運転が多い方も望ましくありません。そして、保険適応でないため高額な費用が必要になります。手術に際しては、レーザー眼軸長測定や角膜形状解析などの精密な術前検査や、極小切開の手術が必要になります。当院でも数眼に入れたところですが、遠近とも裸眼で1.0の視力が得られております。福井県内では3施設がこの手術を行っております。

トーリックIOLは乱視をレンズの中に組み込んだIOLです。患者さんの乱視軸に合わせてトーリックIOLを挿入することにより乱視が相殺されて全体の乱視を弱めることができます。今までもメスやレーザーで角膜を切開して乱視を矯正する手術はありましたが、手間と費用がかかりました。トーリックIOLは通常の白内障と同じ手順ででき、保険

眼科部長  
小堀 朗



適応ですので余分な費用はかかりません。現在まで50眼に挿入しましたが良好な成績が得られております。

## 《抗VEGF抗体》

血管内皮増殖因子VEGFは様々な眼科疾患に付随して眼内に発生します。VEGFは強力な血管透過性亢進や新生血管促進の作用があるため、眼内に異常新生血管や網膜浮腫を誘発し、視力を低下させます。その治療として、VEGFの働きを抑える抗VEGF抗体を眼内に注入します。眼内に使用する抗VEGF抗体にはベバシズマブ、ラニズマブ、ペガブタニブナトリウムがあります。主に黄斑変性症の治療に用います。抗VEGF抗体を眼内に注入することにより、病的な脈絡膜新生血管を消退させることができます。今までの黄斑変性症に対する治療は視力低下を抑制することしかできませんでしたが、抗VEGF抗体治療により始めて視力向上が得られるようになりました。より重症な症例に対しては従来の光線力学的療法PDTを併用します。さらに増殖性糖尿病網膜症、血管新生緑内障、網膜静脈閉塞症に対して抗VEGF抗体を使用することにより、病的血管を消退させより安全に手術を行えるようになりました。

## 《PTK》

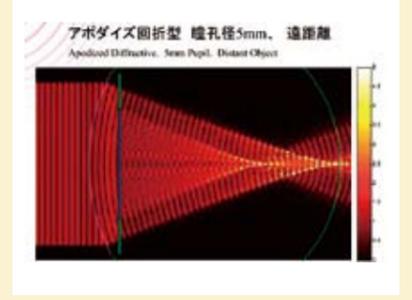
レーザーによる治療的角膜切除術をPTKと呼びます。エキシマレーザーを使って病気になった角膜表層を滑らかに切除することによって視力を回復させるものです。以前より非保険外診療で行われていましたが、4月より保険適応となりました。過去の症例経験数から石川と福井県では当院のみが認定施設となりました。角膜変性疾患・難知性角膜潰瘍・再発性角膜びらんなどがその対象疾患となります。



白内障手術機器 (Alcon infinity vision system)



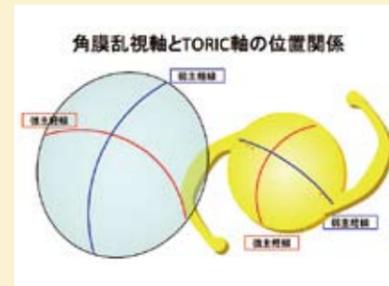
多焦点IOL (Alcon acrysof restor)



多焦点IOLにより2か所に焦点が結ばれます



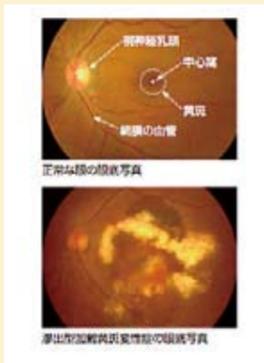
乱視が大きい程ばやけて見えます



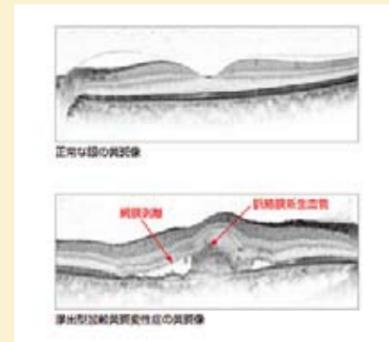
角膜乱視とIOL乱視により相殺されます



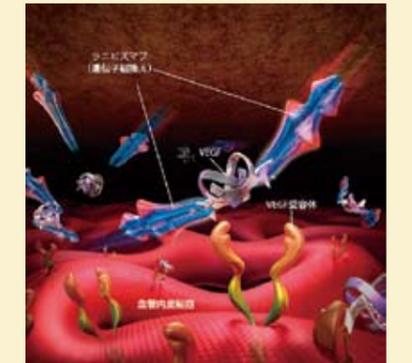
黄斑変性症の自覚症状



正常眼底写真と黄斑変性症眼底写真



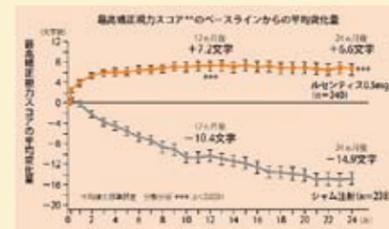
正常黄斑部断面と黄斑変性症断面 (レーザー光干渉断層計OCT)



抗VEGF抗体の作用図



硝子体注射



抗VEGF抗体による視力経過グラフ



顆粒状角膜変性症に対するPTK治療前後